

平成24年度 水道事業決算状況

1 事業の概況

(1) 給水状況

平成24年度における給水人口は581,154人で、前年度に比べ1,863人(0.32%)の増、給水世帯数は259,855世帯で、前年度に比べ1,675世帯(0.64%)の減となりました。

また、年間配水量は65,258,459で、前年度に比べ278,726 m^3 (0.43%)の増加となり、有収水量は58,560,174 m^3 で、有収率は89.74%となりました。

(2) 建設改良事業

平成24年度の拡張事業は、721,006,644円を投じ、安定給水の向上と災害時等の給水対策として配水管布設工事を行い、管網未整備路線の出水不良の改善と区画整理地区で管の布設を必要とする箇所を対象に、口径75~400mmの配水管8,631mを布設しました。

一方、改良事業では、1,978,413,161円を投じ、配水管の布設工事及び浄配水場の整備工事を行いました。浄配水場整備工事では、上青木浄水場ほか遠隔制御装置等更新工事のほか、石神配水場高圧遮断器ほか更新工事、上青木浄水場7号井掘替工事等を行い、配水管布設工事については、老朽铸铁管の更新等を図り、口径75~600mmの配水管等7,806mを布設しました。

2 経理の状況

(1) 収益的収支の状況(消費税及び地方消費税抜き)

収益的収入における総収益は10,909,882,274円で、前年度に比べ528,153,923円(5.09%)の増となりました。この増加の主な理由は、鳩ヶ谷市との合併による事業規模の増加によるものです。

一方、支出に係る費用総額は9,938,727,881円で、前年度に比べ290,100,646円(3.01%)の増となりました。主な内容は、収益的収入に同じく鳩ヶ谷市との合併によるものです。

この結果、収益的収支において、当年度純利益971,154,393円の計上となりました。

(2) 資本的収支の状況(消費税及び地方消費税込み)

資本的支出の総額は4,942,881,305円で、主に老朽铸铁管の更新に重点を置き、事業を実施しました。

支出の内容は、建設改良費2,709,874,805円と企業債償還金2,233,006,500円で、これに対する収入総額は1,791,720,785円で、企業債1,704,000,000円、受託工事収入40,754,000円及び一般会計負担金46,966,785円となっております。

これに伴う収支不足額3,151,160,520円は、減債積立金1,045,000,000円、建設改良積立金109,000,000円、過年度分損益勘定留保資金1,877,219,060円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額119,941,460円で補てんしました。